

県内の多くの企業で行われた仕事始め式。経営トップが訓示した
＝岐阜市神田町、十六銀行本店ビル



竜のごとく成長

県内企業トップ 年頭訓示

県内の多くの企業は4日、新年の仕事始めを迎えた。元日に能登半島地震が発生するなど多難な幕開けとなった2024年。各企業のトップは年頭訓示で救助作業が続く被災地に思いを寄せた上で、複雑化する社会のニーズを捉え、地域経済の成長につなげる一年にするよう呼びかけた。

鍵は「オールウェイズ」

能登半島地震の被災者に心から
お見舞いを申し上げ、一日も
早い復興と平穏な生活が戻るこ
とを願う。今年はアフターコロ
ナの動きが活発化する。顧客と
一緒にいろいろな挑戦をし、竜
のように昇
る年にしよ
う。今年の
キーワード
はオールウ
ェイズ。社会の情勢はいつも変
わるので、適応して自分たちを
変えなければならぬが、OK
Bの思いは変わらない。状況に
応じて自分の頭で考え、体で感
じ、自分をどう成長させるか。
活躍を期待する。



大垣共立銀行
境敏幸頭取

三つの「C」に取り組む

第2次中期経営計画の基本戦
略に掲げた一つ一つの施策をス
ピーディーかつ着実に実行し、
お客さまに新たな価値を実感し
てもらう重要な年。不確実性が
高まる現代において、地域金融
機関の真価
が問われる
中にある
て、チェン
ジ、チャレ
ンジ、コミュニケーションの三
つの「C」に果敢に取り組む、
四つ目のCとなるチャンス之年
としたい。一歩先を行き、いつ
も地域の力になる地域総合金融
サービスグループへと歩みを進
めていく。



十六フィナンシャルグループ
池田直樹社長

持続可能な社会つくる

人手不足や原材料高など多様
化するお客さまの課題は、当金
庫の課題でもある。お客さまに
寄り添い、共に考え、お客さま
・金庫双方に価値を生み出す活
動に全力で取り組む。」「地
元と共にあ
る。共に栄
える」の経
営理念の下、お客さ
まや職員をはじめ地域の全ての
成長と幸せのために行動し、持
続可能な社会をつくりたい。そ
のためには、職員一人一人が意
識を変え、スピーディーに行動
する必要がある。一歩前へ踏み
出す、意識改革の年としたい。



東濃信用金庫
加知康之理事長

恩返しの気持ちを体現

当金庫は本年、3月31日をも
つて、創立100周年を迎える。
「100年分の感謝を込めて
これからも地域とともに」をキ
ャッチフレーズに、さまざまな
記念事業を通じて、これまで支
えていただ
いた地域や
取引先に対
する心から
の感謝や恩
返し気持ちを体現していこ
う。そして次の100年に向け、
私たち役員一人一人がお客さ
まのお役に立てる知識やスキル
を新たに身につけるようたゆま
ぬ努力を続け、地域や金庫と共
に成長していきたい。



岐阜信用金庫
好岡政宏理事長

設備や物流効率高める

人流、消費を中心に経済活動
は正常化し始めているが、おそ
らく価格コストは今後も厳しい
とみる。原料起因から人件費起
因へとより複雑な要素が絡み、
予算は許さない。今こそグルー
プの力を集
約して、設
備や物流の
効率を高
め、一枚岩
での変化対応力を発揮していく
ことが重要だ。今年は新中期計
画もスタートする。苦しくても
意味のあることをやっていると
いう腹落ちをいかに皆で共有す
るか。言葉を大切にしながら取
り組んでいこう。



バローホールディングス
小池孝幸社長

変革へ積極思考で行動

能登半島地震で被災された方
に心よりお見舞いを申し上げ、
一日も早い復興をお祈りする。
今年には景気が良くなると言われ
る中、当金庫は今年100周年
を迎える。地域の明るい将来の
ため、縁の
下の力持ち
として支え
なければな
らない。地
域の発展なくして金庫の発展な
し。お客さまに寄り添い、経営
課題に向き合い、悩みに耳を傾
け、安心して相談できる信頼関
係を構築することが全ての始ま
り。積極思考で行動し、変革に
チャレンジしよう。



大垣西濃信用金庫
小川章理事長

ワンチームで変革推進

当社は昨年に経営体制を刷新
し、新中期経営計画の下で、次
の成長を目指すスタートライン
に立っている。新しいヒマラヤ
をつくっていくため、ワンチー
ムでスピードを上げて変革を推
進する覚悟
だ。物価高
や異常気象
により楽観
視できない
状況が続く中、全従業員が自ら
の限界線を1ミミでも押し上げ、
お客さまが求める商品、質の高
いサービスを提供し続けること
が必要だ。今年には厳しくなる。
だからこそアグレッシブに「目
指そう、頂点を」。



ヒマラヤ
小田学社長

「変える」「創る」具現化

中期経営計画の最終年度を迎
える今年は、働き方改革とDX
の加速で個々の付加価値を高
め、積極的に若い世代の登用を
進めて「変える」、スピード感
ある先行投資により新しいサー
ビスを「創
る」ことを
具現化して
いく。その
ためには、
これまでの考え方にとわれない
新たな取り組みが必要。人材を
資源ではなく付加価値を生み出
す資本として捉え、人的投資を
進めていきたい。一人一人が自
律型の「人財」となり、自律型
の組織へと変わっていく。



トーカイ
浅井利明社長